

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	子どもたちの米づくり体験モデル事業			会計	款	項目	大事	小事	
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	01	10	01	04	02	59
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課		指導課			
				主管課長		西村 淳			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内5小学校の5年生	意図	「米づくり」を通して、子どもたちが生産者の工夫や苦心、喜びなどを知り、流山の農業にも関心が持てるようにすると共に、食べ物を大切にすることを育てる。
事業内容	市内5つの小学校（西深井小・新川小・西初石小・南流山小・八木南小）の5年生を対象に、地域の方々の指導や協力のもと、田植え・稲刈り・収穫作業などの実際の米作りを体験する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度に、市の「このまちごはんプロジェクト」の一環として、総合的な学習の時間での米づくり体験をスタートさせた。「生きる力」の基本となる「食」の指導の重要性は増している。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		農業指導	60	60	60	時間	
指標で表すことができない定性的な成果	地域の農家の方を講師として招聘する事により、実験として米づくりや農業について学ぶことができ、食に対する関心が高まった。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
	事務事業のコスト				各学校において、水田の確保、田植え体験の指導、管理や収穫作業の指導、そして最終的に白米になるまでの体験の指導など、地域の方々に多くの面で協力を得ている。		
事務事業の総コスト(a=b+c)		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事業費(b)(円)		1,654,247	1,542,427	1,510,166			
うち一般財源		148,247	169,427	167,766			
職員給与費(c)(円)		148,247	169,427	167,766			
人役・職員(人)		1,506,000	1,373,000	1,342,400			
人役・再任用(人)		0.20	0.20	0.20			
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	学校を取り巻く地域の状況に応じて「米づくり体験」を支援していく。	取組の課題	水田の確保や指導者の確保が課題である。
今年度(H29)に実施した取組	地域の方々を講師として迎えて指導を受けることができるよう、「米づくり体験」を支援した。	今後の改善計画	総合的な学習の時間推進事業の中に事業内容を移管し、学習を支援するとともに、食に対する関心を高めさせていく。